



菅波 茂

98.8.6

約2カ月前、高校2年生の女の子からお手紙をいただいた。「将来AMDAに参加したいので、医師になりたい。どのような勉強をしたらいいのか」という内容であった。ちょうどアフリカに出掛ける前だったので、返事を帰国してから送った時には、すでに1カ月が過ぎていた。3日後、再びお手紙をいただいた。私に手紙を出してから毎日毎日、郵便箱をのぞいていたとのことであった。「ときめき」という言葉が頭に浮かんだ。久しく忘れていた懐かしい言葉である。

AMDAをやってきてきて本当によかったと思った。若い世代がAM

DAに「人生の夢」を持ってくれている。私の25歳からの活動に共鳴してくれる若い世代に感謝したい。AMDAの原則は

次のように簡単である。

①だれでも他人の役に立ちたい気持ちがある。

②この気持ちの前には国境、民族、宗教、文化などの差はない。

③援助を受ける側にもプライドがある。

AMDAの役割は何か。何を目指しているのか。よく聞かれる。

AMDAは「市場」である。あのアジアやアフリカに見られる、雑多で活気にあふれる市場だ。AMDAの3原則を理解する世界中の人達が出会

い、プロジェクトを共に実施する過程で、「尊敬と信頼」に基づいたパートナーシップを実現する「場」である。多種多様なプロジェクトが取り引きされる商品である。現在のプロジェクトは難民や災害被災者に対する緊急人道援助、地域コミュニティにおける生活向上、そしてボランティア教育などである。

AMDAの本当の魅力は、人との出会いである。その結果として世の中の役に立つことである。「ときめき」を持っている人は素晴らしい。手紙をくれた高校2年生がAMDAに医師として参加してくれる7年後が楽しみである。その時までAMDAをもっと商品あふれる市場に発展させておきたい。

(アジア医師連絡協議会代表、
題字は筆者)